

## 2015 台北国際自転車展 出展参加報告

第 28 回目となる台北国際自転車展が去る 3 月 18 日から 21 日にかけて台湾の台北市で開催された。この展示会は、現在台湾自転車業界が世界各国の、特に自転車専門店向け販路の供給元として確固とした地位を占めていることを反映し、ドイツのユーロバイク展及び米国のインターバイク展と並ぶ重要な国際自転車展示会と位置付けられている。展示会事務局によると、本年の全体の出展企業数は 1,104 社で昨年の 1,111 社から僅かながら減少したものの、展示小間数は昨年の 3,279 小間から本年は 3,307 小間へと若干増加した。またバイヤーは世界 107 カ国からおよそ 8,000 名が訪れ、引き続き盛況であった。実際、会期中 4 日間とも来場者が大変多く、にぎやかで活気のある展示会であった。

当協会は、本年からこの展示会にドイツのユーロバイク展及び米国のインターバイク展と同様に、まとまった小間を確保し共同出展企業を募集のうえ共同出展を実施した。合計で 11 社の共同出展企業にお集まりいただく事ができ、微力ながらこれら各社の輸出促進支援を行うことができた。当協会共同ブースは初参加にもかかわらず、展示会事務局から海外大手企業の集まる世界貿易中心南港展覽館 4 階に割り当てられ、更に JAPAN PAVILION と銘打っていただき、大いに注目された。今後もこの共同出展を継続していく意向なので、ご関心のある向きは是非遠慮なくお問合せいただきたい。

### 展示会の概要

- 主 催：中華民国対外貿易発展協会  
 共 催：台湾自転車輸出業同業公会、台湾区車輛工業同業公会、台湾区ゴム工業同業公会  
 日 程：2015 年 3 月 18 日(水)～ 20 日(金), 午前 9 時～午後 6 時  
       2015 年 3 月 21 日(土), 午前 9 時から午後 3 時  
       \* 最終日は一般客へ開放、入場料は 200 元。  
 同時開催：台北国際スポーツ用品展  
 展示製品：自転車完成車、自転車部品、アクセサリー及び電動車  
 開 催 地：台北世界貿易中心南港展覽館 一階、四階、五階及び館外南側、北側の広場  
           台北世界貿易中心展覽一館 二階 H 区  
 展示総面積：58,000 m<sup>2</sup>  
 出展企業数及びブース数：

年	2015 年		2014 年		2013 年	
	台湾外	台湾内	台湾外	台湾内	台湾外	台湾内
参加企業数	303	801	301	809	291	776
合計	1,104		1,111		1,067	
出展ブース数	825	2,482	805	2,474	801	2,437
合計	3,307		3,279		3,238	

(出所：中華民国対外貿易発展協会)

## 1. 展示会の模様

冒頭で述べたとおり、ドイツのユーロバイク展及び米国のインターバイク展と並ぶ重要な国際自転車展示会であるので、各国著名ブランドの完成車・部品・付属品は勿論の事、地元台湾の完成車・部品・付属品も数多く出展している。また地理的に近いことに加え、この展示会への出展を通じ世界各国の専門店向け販路への販売を目的とした日本や中国の自転車企業が数多く出展していることもこの展示会の特徴の一つである。

展示会会場はメイン会場である南港展覽館とサブ会場と言っても良い展覽一館とに分かれており、これら二つの会場はバスで20分程度かかる全く別の施設である。展覽一館の方はメイン会場に出展できなかった自転車企業の受け皿的な位置づけ、並びに同時開催の台北国際スポーツ用品展の会場となっている。



展示会場入り口（メイン会場である南港展覽館）

南港展覽館では、その1、4、5階が使用され、1階は台湾の部品・付属品メーカー及び中小完成車企業、4階は海外企業及び台湾大手完成車メーカー、5階は中国企業というように出展企業別に区分されている。このうち1階と4階が最も華やかで賑やかなフロアである。



会場内の模様（南港展覽館4階）



南港展覽館 4 階に出展した大手企業



南港展覽館 4 階に出展した大手企業

そのうち、南港展覽館の 1 階には大小さまざまな部品・付属品企業が出展している。この 1 階の出展スペースのおよそ 3/4 が地元台湾の地場部品製造企業向けとのことで、自転車産業は組み立て産業であることでもあり、品質の良い部品を求める業界関係者にとって重要なフロアである。このほか一部には中小完成車企業の出展もあった。入口に近いこともあり、来場者数はやはり大変多い。



南港展覽館 1 階の様相 (部品・付属品の出展企業が多い)

更に南港展覽館の 5 階は中国の自転車企業が集められている。ここは中国本土の折り畳み車をはじめとした完成車製造企業、各種部品・付属品、タイヤ等を製造する中小自転車企業が多数出展している。他のフロアとは雰囲気は全く異なっているのが興味深い。



中国企業が集められている南港展覽館5階の様相

またサブ会場的な位置付けの展覽一館は一部の中小の自転車企業が出展しているが、前述のとおりフィットネス用品をはじめとするスポーツ用品の展示も行われており、むしろこれらの展示が主である趣がある。従って自転車企業にとっては、こちらの方は展示場所として不利であるという印象を免れなかった。



自転車企業にとってはサブ会場的な位置付けの展覽一館の様相

尚、現在南港展覽館の隣に新館（南港二館）が建設中であり、2016 年下半期に完成する予定である。これが完成すると小間数は 2,000 以上増加し、現在使用している部分と合れば約 5,500 小間となる。2017 年 3 月開催の台北国際自転車展から全ての出展企業が南港展覽館に集約されることになっており、現在の状況は改善されることが期待されている。



建設中の南港二館

各国・地域の共同出展としては、EU(CONEBI: 欧州自転車産業連盟)とフランスの共同出展がみられた。これらは以前から継続して出展しており、会場内でも南港展覧館4階のよい位置が割り当てられている。EU(CONEBI: 欧州自転車産業連盟)は30ブランド105小間と非常に大きなスペースを取っており、一方フランスもこれに隣接した場所に小間を構えており、こちらは13ブランド28小間であった。早期にこの展示会に注目し共同出展を開始した取り組みには見習うべきところがあると感じられる。但し今回に限っては、大きさではかなわないものの来場者数の多さや注目度の高さでは、当協会のJAPAN PAVILIONもこれらに引けを取らなかったものと自負している。



EU(CONEBI: 欧州自転車産業連盟)共同出展



フランス共同出展

## 2. 当協会の共同出展について

当協会は、本年初めての取り組みとして共同出展企業を募集し共同出展を行った。当協会共同小間は、展示会事務局の配慮により最も良い展示フロアである南港展覧館4階に14小間のまとまった場所が割り当てられた。そして展示会事務局はこれをJAPAN PAVILIONと銘打った。

また当協会は、小間の設営に当たって展示会事務局や現地装飾業者と事前に検討を行った。その結果、各小間のデザインを統一することとし、また全体の色調については、展示会事務局側で手配する通路の絨毯等周囲との色調との調和を考慮しながら、日本の紅白イメージを同時に遡及させるため、桃色と白の二色を用いることとした。



全体の色調に配慮した当協会の共同出展の様相

我が国の共同出展は大いに注目され、展示会に先立ち配布・公表される展示会事前告知報や展示会の当日に配布される展示会日報に大きく取り上げられたほか、我が国の業界誌は勿論の事、米国の業界誌にも我が国が共同出展を行うと報じられた。更に台湾の三大新聞の一つである「中國時報」の電子版にも当協会が共同出展企業を募集し日本国家館を運営する旨報道された。

今回お集まりいただいた共同出展企業の社名及び出展製品は以下の 11 社である。

## 2015 台北国際自転車展当協会共同出展企業一覧

(順不同)

出展社名 (英文名)	住 所	電話 F A X ホームページ	主な出品物
株式会社ユニコ	〒590-0072 大阪府堺市堺区中向陽町 1-4-22	072-232-8175 072-232-8176 <a href="http://www.bikeguy.jp/">http://www.bikeguy.jp/</a>	ライト、ボトル、 スタンド、ウェア 等
株式会社テックワン	〒580-0006 大阪府松原市大堀 1-1-12	072-334-8739 072-334-8610 <a href="http://www.techone.co.jp/">http://www.techone.co.jp/</a>	折畳自転車
株式会社日東	〒334-0013 埼玉県川口市南鳩ヶ谷 3-23-7	048-286-7771 048-286-7770 <a href="http://nitto-tokyo.sakura.ne.jp/">http://nitto-tokyo.sakura.ne.jp/</a>	ハンドルバー ハンドルステム シートピラー
株式会社オオトモ	〒559-0025 大阪市住之江区平林南 1-5-15	06-6654-3165 06-6654-3309 <a href="http://www.mindbike.jp/">http://www.mindbike.jp/</a>	ボルト式分解組立 可能小径車
株式会社ハチスカ	〒444-2111 愛知県岡崎市西阿知和町御 用田 1-1	0564-45-7171 0564-45-6262 <a href="http://www.hachisuka.co.jp/ecore.html">http://www.hachisuka.co.jp/ecore.html</a>	ノーパンクタイ ヤ、樹脂製チュー ブ
株式会社三ヶ島製作所	〒359-1166 埼玉県所沢市糞谷 1738	04-2948-1261 04-2948-1265 <a href="http://www.mkspedal.com">http://www.mkspedal.com</a>	ペダル トウクリップ
株式会社トップ	〒213-0027 川崎市高津区野川 3914	044-777-4674 044-777-4683 <a href="http://www.lovell.jp/">http://www.lovell.jp/</a>	バッグ類 アパレル アクセサリ
アトリエ ドゥ キャファ	〒563-0023 大阪府池田市市井口堂 2-10-13	090-6675-9971 050-3730-2682 <a href="http://www.kijafa.com/">http://www.kijafa.com/</a>	カーボンフレーム ロードバイク
株式会社 NOiS	〒183-0051 東京都府中市栄町 2-11-37	042-368-3777 042-368-3777 <a href="http://nois.jp/">http://nois.jp/</a>	小径車
合同会社 5LINKS	〒168-0081 東京都杉並区宮前 3-15-24-213	03-3562-6811 03-5941-0255 <a href="http://5links.jp/">http://5links.jp/</a>	折畳自転車

ブリヂストンサイクル株式会社	〒362-8520 埼玉県上尾市中妻 3-1-1	048-772-5334 048-772-5220 <a href="http://www.bscycle.co.jp/global/">http://www.bscycle.co.jp/global/</a>	ロードバイク MTB
----------------	-----------------------------	---	---------------

[株式会社ユニコ]



同社の展示の様様

※同社のコメント

- ・台北展はユーロバイクより出展経費が少ないにも拘わらず効果は絶大。
- ・フランスやイタリアからもバイヤーが来た。インドや東南アジア（マレーシア、タイ）からのバイヤーが多くなってきている。遠くは南米のエクアドルからのバイヤーともコンタクトを持つことができた。
- ・昨年はこの南港展覧館4階に出展できず屋外での出展となった。それに比べてここは人の流れが多く客数は2倍となった。

[株式会社テックワン]



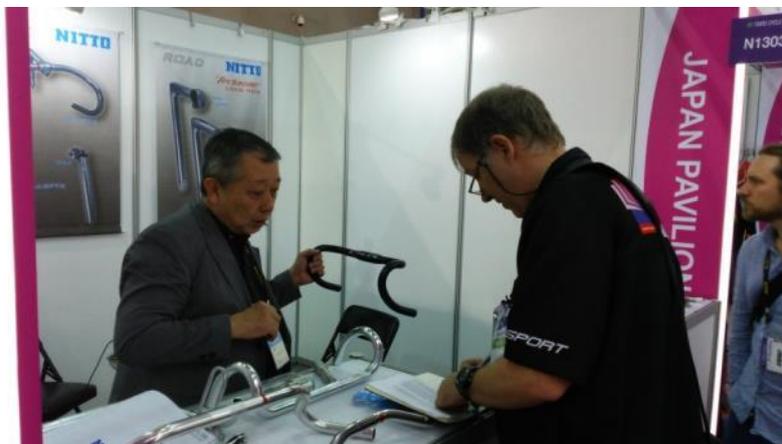
20インチサイズでは世界最小の折畳自転車。10秒間で折り畳めることが特徴

※同社のコメント

- ・当社は元々、家電製品の板金加工の会社である（産業用各種制御機器、建築金物等の精密板金部品の設計・製造、及び自転車の開発・製造）。

- ・この展示会に出展して「日本の業、ここに有り」というものを見せたかった。
- ・今回出展した完成車は、部品は中国と台湾製で、設計と組立は日本。
- ・今後、更に小さい折畳車を作り続け、折畳自転車をとことん極めたい。

[株式会社日東]



同社の商談の様様

※同社のコメント

- ・20年間毎年この展示会の参観を続けてきた。今回初めて出展したが、商談を行う際にもブースで確実に待ち合わせや打ち合わせができ、仕事の効率が良くなった。今までは客の指定するブースに行ったり喫茶店で会って打合せを行っていた。
- ・東南アジアの新規顧客を獲得できた。

[株式会社オオトモ]



TAITRA 主催の「d&I awards 2015」の完成車部門で金賞を授与された小径車

※同社のコメント

- ・今回出展した自転車は、ジョイント機能を持つアルミ押出材フレーム(意匠登録済/PAT.P)により、車体全体をボルトで分解組立可能なもの。フレームの長さを変えることにより、キックバイクから子供車、大人車まで組み上げる事ができる。まるで走るシステム家具のような存在（同社 HP より）。

[株式会社ハチスカ]



ノーパンクタイヤ、他社同種製品と比較して中空構造のため軽量。

※同社のコメント

- ・脱着にはバイク用タイヤレバーを使用し、多少のコツは必要となるが、慣れれば問題ない。
- ・タイヤとチューブは別構造のため、タイヤが擦り減った場合はタイヤのみの交換が可能。
- ・大きな商談もあり、非常に手ごたえがあった。出展に見合う成果があった。

[株式会社三ヶ島製作所]

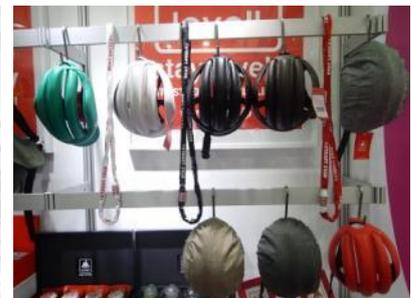
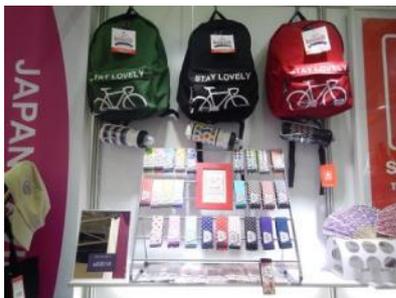


同社の展示製品

※同社のコメント

- ・バイヤーの取り扱う自転車の種類（ロードバイク系、ピスト系、ツーリング系）によって反響はそれぞれ万遍なくあるが、その中でも特に脱着式ペダルの引き合いは多い。当社としても脱着式ペダルの開発には力を入れていく。
- ・多くの商談がありとても良かった。お客様は東南アジアの方が多く、ヨーロッパの方も多少いた。米国の方は殆どいなかった。

[株式会社トップ]



同社の展示製品

#### ※同社のコメント

- ・ 初出展にも拘らず良いブース位置を確保していただき感謝している。
- ・ 本格的な自転車専門部品ではなく、「自転車を降りた後に使える商品」をコンセプトにした商品開発を行っている。高級過ぎず廉価過ぎないラインを狙っている。
- ・ カスクやメッセンジャーバッグ、フロアポンプ、ドリンクボトル等の自転車用品に加えて、普段着用アパレル、トートバッグ、手ぬぐい等も取り扱っている。中でもカスクは来場者の反響が大きい。
- ・ メッセンジャーバッグは日本製の帆布を使用している。海外製同種製品は多くあるが、日本製帆布製品のレベルは非常に高く評価されているので、お客様の反応は良い。

#### [アトリエ ドウ キャファ]



同社のトライアスロン専用CFRP製バイク

#### ※同社のコメント

- ・ 設計デザインは自社で行い、外部のビルダーが制作した。展示車両は実際のトライアスリートが使用している実車である。実際のレース現場で使用されたリアルティを感じて欲しいという思いがある。
- ・ 展示会終了後、展示製品は中国の自転車サイトで紹介された。Bianchi、bmc、BH、Fujiなどの有名ブランドと同列に扱われている。

<http://bikecc.com/?post=114>

- ・ Bici Club というアルゼンチンのサイトにも紹介された。

<http://biciclub.com/taipei-2015-atelier-de-kijafa/>

#### [株式会社 Nois]

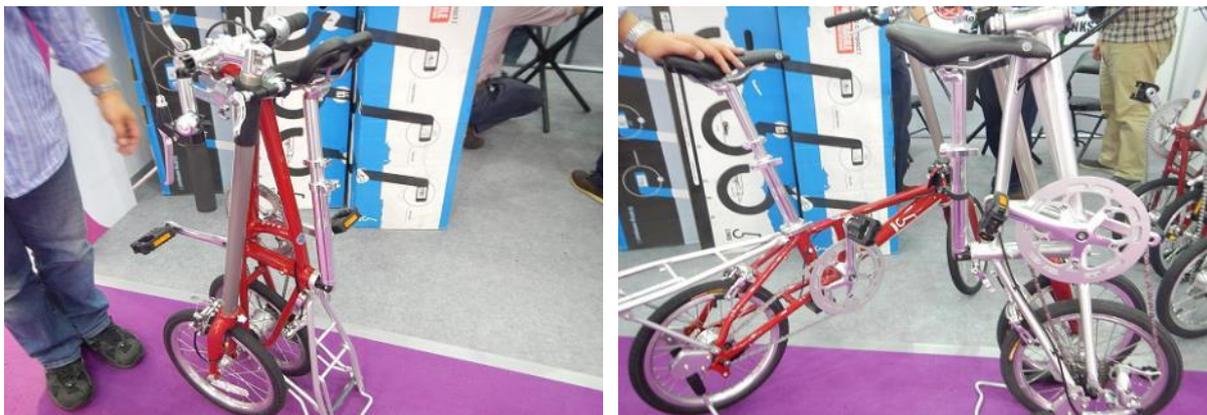


小径車とオリジナルパーツを展示した同社小間の模様

#### ※同社のコメント

- ・ 今回初めて出展できてよかった。「最高」の一言。
- ・ JAPAN PAVILION は目立って良かった。日本製品のアジアにおけるプライオリティーは高い。

[合同会社 5 LINKS]



同社の折畳小径車 6つのアクションで折りたためる。

※同社のコメント

- ・ 昨年からユーロバイク、台北展に出展し海外の販路を開拓し始めたが、昨年の台北展では別館にブースが割り当てられ商売的に難しかった。当協会の共同ブースは展示会メインの場所で商売販路を広げるにはとても良い。
- ・ 5速と9速をラインナップし、重量も10kg弱に抑えている。日本でコンセプトづくりと設計を行い、生産は台湾。ジャパンブランドを目指した商品づくりを行っている。
- ・ JRの輸行に対する規則に対応したキャスター付き輸行バッグも同時に開発。
- ・ 社名には、携行性が高く五大陸どこでも移動できる折畳自転車という意味が込められている。

[ブリヂストンサイクル株式会社]



3小間を確保し高級ロードバイク（アルミフレーム）、MTB（カーボン、クロモリ、アルミフレーム）を展示した同社小間の模様

※同社のコメント

- ・ グローバル展開の旗揚げとして出展した。既にマレーシア、タイ、ベトナム、韓国、台湾には販売網を持っているが更なる販売網の拡大を図る。まずアジア市場から。

### 3. 2016年同展への共同出展について

当協会は2016年台北国際自転車展においても引き続き共同出展を実施する予定であり、既に共同出展の申し込み受け付けを開始している。この展示会に出展する事により、各ブランドが世界に展開・周知されていく事が期待される。また共同出展参加に当たり各社にご負担いただく分担金は、全体の必要経費の半額以下程度に抑えられている。共同出展にご関心の向きは是非遠慮なくお問い合わせいただきたい。

当協会本部事業部連絡先電話番号：03-6409-6921

当協会本部 HP <http://www.jbpi.or.jp/>

以 上